

Q	A
きょうだい2人がいて、令和7年度と11年度に入学する予定で、結構年の差がある。その間にスクールバス終了となった場合、下の子はどうなるのか。このような年の差があっても同じ学校に通えるのか。	スクールバス通学を選択いただいた場合は、途中で（スクールバス）終了が決まっても、卒業まではスクールバスを運行します。年の差があっても、きょうだいはスクールバス通学で同じ学校に通えるよう考えています。 ※事務局追記：より大きな年の差のあるケースも想定されるため、スクールバス終了時期を審議する際に、通学可能期間については十分検討していきます。
P20に定員超過の場合は抽選予定と書いてあるが、令和11の御所ヶ丘小の定員が少ない（P24）。人数が溢れて、抽選の結果もれたら上の子と同じ御所に行けないのか。 小学校が抽選になるのは聞いたことがない。市の都合で希望を出して、はじかれるのは、納得いかない。	きょうだいがいる場合は、優先的に同じ学校に行けるよう、詳細について内部で検討します。
P23（新1年生の受入れ人数） 受入れ先の学校を増築して多くの人数を受け入れられるようにして、どちらかの学校によせることはできないのか。周りの子どもと一緒に行けた方がよい。多い方に行かせたい。	おっしゃるとおりですが、増築となると工事期間も必要となります。また、希望者はできる限り希望する学校に移動できるよう、検討しますが、受入先を一つの学校に限定すると、受入校が大規模化してしまいます。
P9（学校運営） 黒内小学校の昼休み3部制は、昼休みの枠をわけているのか。ほかの学校よりも昼休み（自由時間）が短いのか	黒内小では、昼休みを3部制とし、一つはスタディタイム（黒内小独自の取組）でドリル学習、もう一つはお掃除、もう一つは昼休みにして、運動場が混みあって怪我しないようにしています。スタディタイムを設けることで、宿題を出していません。 また、時差登校していることから、休み時間は他の学校より5分程度短く、15分となっています。
朝の時間の見守り等だが、PTAの見守りはどこもあるのか。	PTA活動は学校ごとに内容が違いますので、各学校のPTA会長に話を聞いて確認します。 黒内小は、下校時はPTA活動「黒サポ（ボランティア）」として見守り活動を行い、朝の交通安全は市の配置による通学補助員が行っています。 黒内小のPTAは、会長の意向でできる人ができることを、負担の無いような形で活動しています。 ※事務局追記： 御所ヶ丘小学校は、令和5年度は当番制で登校時の見守り活動を実施。令和6年度以降はできる方がボランティアで対応する形となる予定。 郷州小学校は、地区ごとに希望時間帯の意向調査を行い、保護者全員で登下校時の見守りを行っている。
スクールバス導入について。変更先に御所ヶ丘小、郷州小とあるが、黒内小も選べるのか？	選択制なので、黒内小も選べるし、スクールバスを利用して御所ヶ丘小もしくは郷州小に通うこともできま

	す。黒内小から変更する場合は、教育委員会に申立をしてもらいます。
原則は黒内小で、希望者は他 2 校にスクールバスで行けるということか。	そのとおりです。
御所ヶ丘小、郷州小の児童が増えることの教員の確保はできているのか。	教員の配置は義務教育標準法（公立義務教育諸学校の学級編制及び教職員定数の標準に関する法律）で決まっているため、茨城県から定数配置人数は確保してもらいます。 また、守谷市は市費の講師も配置しているので、他市の教員配置に比べて配置は手厚いと考えています。
教員 1 人あたりの児童数が増え、一人の教員が見る児童が増え、御対応を計画されているのか。 学習のクオリティが下がってしまいますのでないか。 松並青葉地区から御所ヶ丘小、郷州小が増えたことによって各地区が心配されているのではないか。	定数配置で行っているので問題ありません。
（松並青葉の子どもたちが移動することで）御所ヶ丘小や郷州小に元々通っている方々が嫌な思いをすることで、我々が居心地悪くなったりしないか。 車でお迎えに行くと、地元の方々に不便をかけるのではないか。配慮は考えているのか。	各小学校の PTA に説明をして理解いただいています。
移動先の地区へ相談はしていないか。	対策を決定していないと動けません。 先月末に御所ヶ丘小、郷州小 PTA の役員への説明は終了しております。 通学区域審議会には関係する校長先生も入っているため、情報共有はなされています。 ひとり一人の理解を得ているかについては、理解を得ていない状況です。
近隣に住まわれている住民に話をしているか。	該当地区にはまだ説明をしていません。今後はご理解いただく必要はあるので、対策決定後は、保護者だけではなく、該当地区にも説明します。
3 月上旬の答申前か、後にするのか、答申と議決の間か。決まったことをご理解くださいなのか、これでよろしいでしょうかという形となるのか。 3 月中に了承を得るのか？	答申と議決の間の予定です。 地域の方々に説明させていただいて、了承を得た形でスムーズにもっていけたらと思っています。区長さん、まちづくり協議会の皆様と協議し、3 月中に了承を得ていく予定です。
北園交差点の児童数は、松並青葉だけで 5 0 0 ～ 7 0 0 人いるが、小学校一校分だが、新設は考えられないのか。中学校も同じような形で溢れていくと思われるが、そういった対策をまったくせずに学区だけいじることしか考えていないのか。	新設は用地の確保、地盤調査対策等で 5 年ほどかかるので、課題解決には間に合わず、さらに膨大な費用もかかります。 仮に松並青葉地区の近くに土地があり、建設できても、児童数の減少で将来的に小規模校になってしまいます。今後は、松並青葉地区周辺以外に開発できる場所はほとんどないため、国道 294 号線から東側の児童数の

	状況を加味しながら、市全体の学校配置方針を検討します。
教育委員会のメリットだけでなく、黒内小周辺に5千人住んでいて、避難先としてのキャパがない。防災の観点からも新設は必要ではないか。防災の面を含めて、議論したほうが良いのではないか。	都市計画課と企画課など関係部署と協議します。
松並青葉は黒内小学区で、選択制となるが、想定より移動者数が少なかった場合の次のプランはあるのか。	できるかぎり選択いただけるよう努めますが、移動人数が少なかった場合、敷地内に特別教室（理科室、図画工室）や教室を保有するプレハブを建築する予定です。
アンケートの対象は松並青葉の子どもがいる家庭限定か？	各町内会の会長さんをお願いをして、お子さんをお持ちではない方も含め、各戸配布をさせていただきました。
センシティブな内容なので子どもがいる家庭のみに聞いた方がよいのではないか。どういう意見があるかを精査するためにも対象を絞ったほうが良いと思う。影響のないかたにとってはどちらでもよい。そのようなアンケート結果で、賛成が多いから問題ない、という結論付けは危険である。	学校は地域の問題だとの意見があり、松並青葉全体にアンケートを取らせていただきました。
新守谷区画整理での人口推移は？学区の御所ヶ丘小の受入れができなくなるか？	新守谷の住宅地の推計を出し、反映させたうえで計算しているため問題ありません。この地域は、通学審議会では黒内小学校から御所ヶ丘小学校に変更しました。御所ヶ丘小の移動前推計値には、開発区域を反映させた数値も入れています。
北園交差点、歩道橋やガードレールの整備について検討はないのか。	以前からも意見をいただいております。市から歩道橋の要望もしています。しかし、日中の利用者数がほとんどないことから、予算を投じるのは難しいとの県からの回答があり、頓挫しています。 そのため現在は歩道の拡幅で対策してもらっており、市では通学補助員を配置し、安全に渡れるよう見守っています。 警察では、歩道信号機の歩行者が渡る時間を一番長くなる設定にしてもらっており、学校としても時差登校でなるべく混まないように対応しています。 これ以上児童が増える場合は、例えば守谷駅のベデストリアンデッキを利用するような通学ルートに見直すなどの対策も検討する必要があります。 実際、大野小では歩道のない県道が最短距離の通学路となっていますが、地域の方々が付き添い、裏道の田んぼ道などの安全なルートを通るようにしています。黒内小についても、皆様と協議しながら決めていきたいと考えています。
在校生が卒業したら下の子は別の学校に行くのか？	選択制のため、きょうだいと同じ学校に通わなければ

西暦で表記してもらえたらありがたい。	いけないということではありません。 西暦記載は、検討します。
今回の説明会でなにを得て審議会に持ち帰るかを確認したい。実現可能性を加味した上で答申を行うと思うが、二週間以内に答申を出すということであれば、時間が非常に少ない。 この説明会の意味合いとしては、他の小学校にどうやったら通える気持ちになるのかを聞く場ということでは、どうか。	その通りです。 方針案の改良可能な部分がどこにあるか、すり合わせする場としたいと考えています。
学校の新設はできない。歩道橋もお金がないし、県が協力しないからできない。ただ、交差点に大型トラックが突っ込んできて人命に関わる事故が起きたらそれは県が協力しないから市もやりませんという判断となってしまうことなのか疑問です。 つまり、市としてはこれだけ努力してきたがこれ以上はできないから松並青葉の皆さんご協力してください、という姿勢がまったく見えない。しっかり説明していただくことと、これから出る意見を受け止めて皆さんが移動してくれるような案を考えていたきたい。 試算が甘くて申し訳ない、という中で、受入れ上限まで移動する試算は本当に大丈夫なのか疑問。試算をしっかりとっていただきたい。 民間のコンサルが試算する話なのか、市の施策として人口増を緩やかにしていく話なのか。 施策レベルの話だと思うが、我々が勝手に増えたというような話になっているのはおかしい。	貴重な御意見ありがとうございました。 確かに、これまで、協力いただくという姿勢ではなかったこと、反省しております。大変申し訳ございません。移動についてご検討をお願いします、というところが教育委員会の本音でございます。 上限枠で試算している点を甘いというご意見はごもっともと思いますが、実際に何人が移動できるか数の把握ができないと試算できません。 ここでは、教育委員会の理想の数字で出させていただいております。
理想の数字を出すためにアンケートがあるのではない。アンケートの対象者を該当保護者ではなく、町内全体で行ったことによって、本来対象者だけで行っていれば、移動人数が割合から出せていたはず。アンケート目的がわからないが、フuzzyな感じで取ってしまったから、試算もできないってことになっている。 これで我々を協力したことによって、本当に市が良くなるのか、我々も判断できない。 拙速に再来年度から4月から行うという納得いくプロセスにならないのではないかと危惧している。 時間が短い中でできるのであれば、是非御努力いただきたい。	前回のアンケートでは、お子さんのお持ちではない方も含めてですが、約3割が賛成しており、3割まで移動した場合の数値も出しております。しかし、その場合は、黒内小児童数が1,300人台のまましばらく続くという見込みが出ておりますので、できるかぎり移動にご協力いただきたいと思いますと考えています。
スクールバスでの選択をできる限りはしてほしいということか。	そのとおりです。

P21 の令和 7 の新 1 年生からの人数について、全員バスで移動した場合、1 台で足りるのか、増えたとき、1 台のバスでは管理できないのではないか。遅刻用ではなく、バスの台数を増やすつもりはないのか。	便数とは時間帯の回数であり、台数ではありません。人数が確定したら、人数に応じた台数を確保する予定です。 50 人程度であれば、大型バス 1 台になり、それ以上であれば 2 台となります。
便数を増やすことはないか。	朝は現時点では一便ということで考えております。 遅刻したときにどうするのかというご意見も多くいただいているので、我々も悩ましく考えております。 他の自治体を確認しておりまして、遅刻用のバスをだしているところもあれば、公共交通機関の利用を促しているところもあれば、保護者対応をお願いしているところもあります。皆さんのご意見を聞きながらどう対応すべきかを検討してまいりたいと思います。
帰りのバス時間が 14 時 50 分となっているが、掃除等の余裕をみた時間なのか。	そのとおりです。 対象が新一年生なので、一年生の時間割でしか出しておりませんが、例えば、中学年や高学年の方も移動していただけるのであれば、各学年によって下校時間は異なりますので、その時間に応じたバスを運行します。
対象者への再度アンケートは出さない予定ですかもう一度アンケートを取った方が人数の把握ができるのではないか。	実際の人数を把握するのは、令和 7 年度に黒内小学校に入学する全保護者向けに 4 月に通知を差し上げるタイミングとなります。7 月中旬までにスクールバスを利用するかどうか受付していきます。 そのほか、出口アンケートではないですが、今時点での移動について QR コードで回答をお願いいたします。今回の説明で移動してもよいか、ご協力をお願いします。
P13（アンケート結果） 賛成が高いが、周りをみていると自分の子供が対象外だから、新一年生から移動してくれればいいという家庭が多いのではないかと感じている。 今回のアンケートの QR コードについて、実際にバスを利用する対象なのか。	お子様の年齢を選ぶ項目がございますので、そこで絞り込んで人数を出すようにしております。
17.6%は積極的に移動したいという方だと思うので、令和 6 年度の移動をもっとサポートすべき。 そうすることで、黒内小学校の全体の混雑緩和に繋がると思う。まったくサポートしないことについて、ご検討いただけたらありがたい。 今の学年の人たちに希望を取るべきで、令和 7 年度の一年生にだけ負担を押し付けるのはよろしくないのではないか	ご意見ありがとうございます。
推計値について、振れ幅をもって提示するのがよい。 あまい場合、普通、厳しい場合の 3 パターンで、あく	ご意見ありがとうございます。

までも推定値であることを認識してもらう。	
P5（児童数・学級数推移と予測） 令和９年度に児童数の R1 推計値と実績値（R4 推計値）がほとんど変わらないのに、教室数の実績値（R4 推計値）だけ増えているのが不思議なのだが、１クラスの人数を減らしているのか。	令和元年度に行った推計では、令和元年度以前の、普通教室数と特別支援教室数の内訳割合実績で学級数を算出していました。しかし、その割合が、令和３年度から令和４年度で大きく変わり、その傾向は令和５年度についても続いています。このため、児童数としては微減していくが、教室数は増えるという結果になっています。
３０年前にも同じことを繰り返していると思いますが、推定とかはその当時のことが全く生かされなかったのか。３０年前にも同じように、松前台小が増えたときに、キャパオーバーして途中で児童が移動したということがあった。その経験がなぜ生かされなかったのか。当時の当事者ですが、その時は、松前台と薬師台が松前台小に通っていて、薬師台地区の生徒が１年生から６年生まで全部まとめて別の学校に行かされて、私はそのとき６年生だったが、市の都合で最後の１学年だけ別の学校に行かされて、すごく不快な思いをした。こういった思いは子供の世代にはさせたくない。 学校数が足りなかったり、開発した時期に児童数増えたりすることはわかっていたはずで、記録にも残さず、同じことを続けているのが、正直疑問である。コンサルにださなくても、このくらいの計算出せると思うのですけど。 そもそも児童数増加に対する方針を確認したのが平成２３年度で、５年後の平成２７年度に増設している。（新設は）計画に５年位かかるというのなら、この時点のこの考えを持たなかったか。この時点で新設を考えていたら可能だったと考える。	過去の経緯を把握しておらず、誠に申し訳ありませんでした。 今回のことに関しても、教育委員会の推計が甘かったことが原因のため、民間のコンサルに頼んでしっかりと検証をさせていただきたいと思います。 そもそも黒内小学校は、ＴＸ開業前の平成１５年の頃は一学級しかないような学校であったため、松並青葉の開発が始まり、区画整理地内に学校用地を作るか作らないか議論がされたとき、近くに教室数に余裕のある黒内小学校があり、徒歩圏であるとなると、新設ではなく黒内小学区として増築対応方針とすることを選んだのだと考えております。 また、過去の記録からは、近隣のひがし野地区の推移を参考に児童数がどれだけになるかを検討したことが伺え、学校新設ではなく増築の方針で今まで来てしまった状況となっています。
先ほども出たが、歩道橋が県でできないのであれば、元々北園交差点で渋滞がすごいので、立体交差にすれば、安全な通学路を作るのは可能ではないのか。	例えばスクランブル交差点ですと、警察、龍ヶ崎工務所と協議はさせていただいたのですが、立体交差するにあたっては、周りの歩道や待機所のスペースが狭すぎるため実現が難しいという結論となった経緯があります。
御所ヶ丘小のバスのルートで北園交差点を通ることになると思うが、朝の時間で安定していくことは不可能だと思う。 どういう試算されているのか。 北側の道も細くなっており、時間がかかる気がする。	距離で単純に計算している状況です。北園交差点が混雑する想定はしていますので、北園交差点を使わないルートも含め、どこなら確実に通れるかを検討していきます。
黒内小学級崩壊が起きているのはどのように考えて	把握していなかったのですが、具体的にはどのようなこ

いるか。みなさんどういふお考えをお持ちなのか。移動するのに物を持っていかないとだめだとか。児童が多いから起きていることなのか、教員が足りないからなのか。その把握をしてほしい。	とが起きているのか、黒内小に確認します。
バスの申込状況はわかるのだろうか。自分はこの学校を選んだが、近所の方がほとんど別だった場合、近所の方の状況がわからない。	個人の状況は出せないが、地区ごとの申込状況の公開はできるのではないかと考えます。検討いたします。
スクールバスの申込をし、決定された後に取消（キャンセル）は可能か。	取消し可能です。
近所の友達と学校がバラバラになってしまうと、近所の公園に一緒に行きにくくなる。近所の子どもたちとの交流は検討しているか。	検討していません。変更先の子どもたちとの交流については検討していますが、松並青葉の近所の方との交流は検討していませんでした。今後検討します。
公立小のメリットは同じ地区の子と同じ学校に行けることだと思う。 選択制でバラバラになることで同じ地区に知らない子がたくさんいるのはかわいそう。 郷州小と御所ヶ丘小のどちらかに偏らせて、なるべくバラバラにしない方が良くと思う。	ご意見ありがとうございます。
前の案はなくなり、選択制になったのか。 親からしたら選択制が良いのだろうが、子ども的にはみんなと一緒に行ってくれ、の方が良い。	現時点で、選択制を望む声が多かったため、選択制に変更しました。 意見が2つに分かれてしまい、教育委員会が学校を指定するのは不公平だということで、今回は選択制としています。 大規模校でも良いと判断される方もいるし、小規模校が良いと考える方もいるという中、これからの時代は、学校の通学区域というものは、教育委員会ではなく保護者の皆様に決めてもらうべきという市長の考えもあり、結果的に皆様を迷わせる形となり申し訳ありませんが、ご理解をお願いします。
4月13日説明会は、その日予定があるのだが日程は決定か？	現時点では決定です。 1日に午前と午後1回ずつ実施する予定です。
学校説明会は、9校が1か所に集まって実施し、見学会は各学校でそれぞれの日程で実施ということか	おっしゃるとおりです。
（意見） 中学で自転車通学は遠い。雨の日もあるし、歩いていくこともできないので、スクールバスの運行を検討してほしい。	貴重な御意見ありがとうございます。
（意見） 不安な気持ちで動向を見守っていたが、抽選になったことにがっかりした。 色々な人の気持ちに寄り添うとなると選択制になるのかなと、大人都合な気がする。	貴重な御意見ありがとうございます。

そんな中、子どもにも黒内小の実情を説明し変更するということになったとしても、抽選で外れてしまうと、納得いかないと思う。 せめて、第1希望、第2希望を聞いてほしい。 転校まで考えているのに、行けないとなるのは考えられない。	
放課後子ども教室、黒内がコロナでやってなかったと思うが、御所や郷州小はどうか。 利用者の見込みはどれくらいか。	他の学校もやっていません。令和6年度から再開予定です。現在は方針が決まっただけですので、見込み数はこれから把握していきます。
帰りの便数。 19時だと帰宅が19時半。遅い バス代が変わらないのであれば18時の台も作ってピストンしてもらえたらありがたい。	下校時の便数と登校時の便数については今後検討します。
人数が多い故の不自由さがあり、来年度からの転校を積極的に考えている。 令和6年度にバスが出ない。予算的には難しいだろうが、少しでも早くバスを出していただければ、令和6年度からの移動者も増えて、現在の黒内小の状況を改善できるのではないかと思います。 早期の移動者が増えれば、移動先の学校の情報も周りの人に共有ができるメリットも感じる。 そこで、スクールバスの帰宅便が16時40分と19時では間が空きすぎてしまうためその間のスクールバスの帰宅便を出していただきたい。	再三要望もあるため、帰宅便の増便は検討します。
（意見）放課後子ども教室に馴染みがない人が多いのではないかと思います。 就労証明書がなくても、短い時間であれば預けられる制度があることを情報発信していくべきだと思います。	貴重な御意見ありがとうございます。
今の在校生が（令和6年度から）転校したい場合のケアとして、体操服などの備品の補填等は考えているか？ 以前、問い合わせた際に、本日の説明会でケアについても説明するということだったので、本日変更するかどうかを決めようとしたが、この情報だと決め切れない。 令和6年度の移動を決めるためには3月中に申請を出さなければならないため、数日中に決めていただきたい。	持ち帰り検討します。
小学校を変更したが、中学校はやっぱり守谷中に戻りたいとなった場合、全員入れるのか？ 校庭が狭いから部活は分けて実施とか制限がかかる	現時点では問題ないと考えています。 推計業務を継続し、必要であればプール跡地に校舎を増設することも検討します。

ものなのか。	
スクールバスについて、他市町村では有料というところもあるみたいだが、料金は無料か。それは、利用者が1人でも無料か。	無料です。
中学で自転車通学になると、北園交差点の混雑につながるのではないかな。	通学路は、学校と保護者と協議して安全なルートを検討していきます。必ずしも北園交差点を通るルートが通学路となるわけではないと考えます。
P 2 6 松並青葉の商業施設にバス停を設けるという話だが、1か所しかバス停を設けないのか？ 松並青葉の端に住んでいて、商業施設まで遠いため、モコバスの停留所も稼働しつつ商業施設のバス停も考えていただきたい。	検討します。
P 2 9 スクールバス、「※自家用車・・・」どういう意味か？車をもっていたらダメなのか。	自家用車をお持ちでもお持ちでなくても、必要があれば利用は可能です。
帰り2便は少ない。	検討します。
児童クラブは空き教室を使っているということだが、駅の近くや松並青葉の地区のどこかに代替施設を用意するということは検討していないか。 家の近くにあったら、時間的にも融通が利くため迎えに行きやすい。	児童クラブは学校の近くに設置するという方針があったため、検討していませんでしたが、担当部署と相談して検討します。
きょうだいで上の子と下の子で他の学校に通うことになった場合、学校行事を被らないように対策をしてもらえるか。	学校行事は、学校長判断で学校ごとに決めていることです。校長会に伝えて配慮してもらうよう伝えます。
P 2 1 スクールバスについて、人数に応じてバス台数を手配するということが、令和10年度に約600人、令和15年度に約700人となり、バス台数が14台とかになる計算だが、現実的に運行できるものなのか。 曖昧だと、スクールバス導入案も破綻してしまう。	バス台数を確保した上、集合時間をずらしたり、近隣の商業施設に協力をもらったりして対応する予定です。
守谷SA新設により、新たな区画整理の予定や人口流入については考慮した推計となっているか。	守谷SA付近での住宅の区画整理は予定していません。現在計画として挙げられているのは、新守谷駅周辺の区画整理の予定です。
現在の学校の配置について、本当に適切かどうかというのが不安で、学校の新設や廃校等の検討をしていくべきだと考える。	来年度以降、通学区域審議会では、中長期的な市内全域の学校配置等を検討していく予定です。
今回の変更案については、ポジティブに捉えている。そうじゃないと子どももポジティブに捉えられない。そんな中で、郷州小と御所ヶ丘小の情報が少な過ぎるので、学校を選べない。	早めに市HPに掲載します。

親も子どもに説明ができないため、市に協力できない。 アンケート回答（3/4）までに黒内小を含めた学校情報がほしい。 さらに子どもが見て視覚的にわかるものを作ってほしい。	
御所ヶ丘小や郷州小への希望者が多い場合抽選になるかもしれない、また、在校生にきょうだいがいる場合は優先されるかもしれないということになると、きょうだいがいない一人っ子の家庭にしわ寄せがいくかもしれないということについてどうお考えか。	受入れ校の大規模校化を防ぐため、受入人数の目安は必要と考えています。それほど多くはない人数の上振れということであれば、枠にとらわれず臨機応変に対応したいと考えています。
P 2 8（安全対策） スクールバスの置き去り防止策について、子どもがバス停に行ったが既にバスが出発していて乗れなかった場合、どのような対応になるか。	置き去り防止策とは、車内に取り残されてしまった児童をなくすために講じられる防止策です。 各バス停で乗り降りする児童名簿等を作成し、運転手もしくは添乗員、学校と保護者へのメール配信という形で安全が確認できるように検討します。
スクールバスについて、普段はバスを利用するが、家庭の事情でバスを利用しない日があってもよいか。	事前に連絡をもらえれば対応可能です。
（意見） 迷っている中には賛成に偏っている人もいる。 例えば、郷州小を増築して、全員寄せるという案はどうか。一度検討してもらわないと、踏ん切りがつかず、考えを前に進めない。	貴重な御意見ありがとうございます。
（意見） 守谷駅前に児童クラブを作って、学校が終わったらスクールバスの帰宅便の便数を減らして、みんな児童クラブ等に連れてきて、遊んでもらい、好きな時間に歩いて帰れるよ、となった方がみんなのためなのかなと思う。 自分自身が 80～90 人規模の学校で育ってきたため、40～50 人規模の学校だと本当に気の合う友達と出会えるのか、親として心配。	貴重な御意見ありがとうございます。